

研究に関するお知らせ

研究の名称：FULEV version 1.0

電気痙攣治療中の静脈血栓塞栓症バイオマーカーとしての 全血完全長ニューロキニン1受容体遺伝子発現の有用性評価

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 麻酔科では以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合は研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

血流が滞って下肢の血管に血のかたまり（血栓）が発生すると、この血栓が血流に乗って肺の血管を詰まらせることがあります。このような病態は静脈血栓塞栓症と呼ばれています。電気痙攣療法を受ける方は静脈血栓塞栓症を発症しやすい状態にあります。さまざまな細胞(神経、白血球、血管など)の表面に存在するニューロキニン1受容体を発現させるためのメッセージ物質(メッセンジャーRNAと言います)が血液中に多く存在すると血液が凝固しやすい可能性があり、そのことについて調査を行います。

【目的】血液中のニューロキニン1受容体のメッセンジャーRNAを測定し、静脈血栓塞栓症との関連を調査します。

【方法】採血を行い、ニューロキニン1受容体のメッセンジャーRNAと血液凝固能を測定します。また電子診療録上の記録から静脈血栓塞栓症に関連する情報を収集しニューロキニン1受容体のメッセンジャーRNAとの関連を調査します。

■研究期間

理事長承認日～2023年3月31日

■研究の対象となる方

2020年x月x日から2022年3月31日の期間に国立国際医療研究センター国府台病院への入院中に電気痙攣療法を計画された方

■研究に用いる試料・情報の種類

治療で使用される静脈ルートから静脈血 3.6mL を採取します。採血のために新たに針を刺す(静脈穿刺)ことはありません。また診療録に記載された診療情報を研究に使用させていただきます。個人情報 は政府が定めた倫理指針に則り、厳重に保護した状態で利用いたします。採血など患者さんに新たにご負担頂くことはありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター-国府台病院 麻酔科 東 俊 晴

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
所属・役職： 国府台病院麻酔科・診療科長
氏名： 東 俊 晴
電話番号： 047-372-3501（代表）
受付日時： 9:00 ～ 16:00（月曜日～金曜日）